
ED01. 輸出犬等検査申請事項登録

業務コード	内 容
EQA	輸出犬等検査申請事項登録

1. 業務概要

本システムにより行う「輸出犬等検査申請」業務に先立ち、輸出犬等検査申請の情報を登録する。
登録した輸出犬等検査申請事項は、任意に訂正することができる。

2. 入力者

全利用者（税関を除く）

3. 制約事項

入力欄数は10欄以下とする。

欄部は欄番号「1」から番号順に入力されていること。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」を参照

(B) 項目間関連チェック

(a) 狂犬病不活化ワクチンの予防接種年月日

狂犬病不活化ワクチンの予防接種年月日が降順で入力されていること。

(3) システム状態チェック

本業務を行う場合は、~~動物検疫検査手続電算処理システム (ANIPAS)~~ 動物検疫関連業務が手続き可能な状態であること。

(4) DB関連チェック

(A) 申請者氏名

①「ユーザ情報DB」に登録されている申請者であること。

②全利用者（税関を除く）であること。

③訂正の場合は、本業務で登録を行った利用者と同じであること。

(B) 動物の種類

「犬等種類DB」に登録されていること。

(C) 用途

無符号の用途以外の場合は、「犬等用途DB」に登録されていること。

(D) 仕向国（地域）

無符号の仕出国（地域）以外は、「仕出国（地域）DB」に登録されていること。

(E) 搭載空港（港）

無符号の搭載空港（港）以外は、「指定港DB」に登録されていること。

(F) 検査希望動物検疫所

「動物検疫所DB」に登録されていること。

(G) 荷送人符号

~~無符号の荷送人以外の場合は、~~「荷受荷送人DB」に登録されていること。

(H) 申請番号（申請事項の訂正の場合）

①「輸出入犬等検査申請DB」に登録されていること。

②無効でないこと。

③取り止めされていないこと。

- (I) 品種
無符号の品種以外の場合は、「犬等品種DB」に登録されていること。
- (J) マイクロチップの種類（メーカー）
「マイクロチップメーカーDB」に登録されていること。
- (K) 標識部位
「標識部位DB」に登録されていること。
- (L) 狂犬病予防注射情報の予防液の種類コード
「狂犬病予防注射種類DB」に登録されていること。
- (M) 狂犬病予防注射情報の有効期限
「有効期限DB」に登録されていること。
- (N) 抗体検査機関コード
「狂犬病抗体検査機関DB」に登録されていること。
- (O) その他の予防注射情報の予防液の種類コード
「その他予防注射種類DB」に登録されていること。
- (P) その他の予防注射情報の有効期限
「有効期限DB」に登録されていること。
- (Q) 動物種、用途
「犬等種類／犬等用途関連DB」に登録されていること。
- (R) 動物種、品種
「犬等種類／犬等品種DB」に登録されていること。
- (S) 仕出国（地域）コード、抗体検査機関コード
「国・抗体検査機関DB」に登録されていること。
- (T) 動物種、その他予防液の種類
「犬等種類／その他予防液種類関連DB」に登録されていること。

5. 処理内容

- (1) 入力チェック処理
前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合のみ以降の処理を行う。
合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。
- (2) 処理単位
申請番号単位で処理を行う。
- (3) 申請番号の払出し処理
輸出犬等検査申請事項の場合は、申請番号をシステムで自動付与する。
付与される申請番号は、2桁の英字（申請先動物検疫所コード）＋1桁の英字（輸出）＋7桁の数字（7桁の数字のうち下1桁が枝番）である。（入力された搭載空港（港）が属する動物検疫所コードを申請番号の上2桁に払い出す）
- (4) 輸出入犬等検査申請DB処理
 - (A) 輸出犬等検査申請事項登録の場合
入力項目及び処理結果を新規登録する。
 - (B) 輸出犬等検査申請事項変更の場合
入力項目及び処理結果を登録されている「輸出入犬等検査申請DB」に更新する。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については、「出力項目表」を参照。

(A) 狂犬病抗体検査機関DB処理

入力された抗体検査機関コードにより「狂犬病抗体検査機関DB」に登録されている抗体検査機関の名称及び住所を画面に出力する。

(B) 輸出入犬等検査申請DB処理

入力された申請者コードにより「ユーザ情報DB」に登録されている申請者氏名及び申請者住所を画面に出力する。

(C) 犬等種類DB処理

入力された動物の種類コードにより「犬等種類DB」に登録されている動物種名を画面に出力する。

(D) 犬等用途DB処理

入力された用途コードにより「犬等用途DB」に登録されている用途名を画面に出力する。

(E) 指定港DB処理

入力された搭載空港（港）コードにより「指定港DB」に登録されている搭載地名を画面に出力する。

(F) 荷受荷送人DB処理

入力された荷送人コードにより「荷受荷送人DB」に登録されている荷送人氏名及び荷送人住所を画面に出力する。

ただし、荷送人住所に入力がある場合は、入力された情報を優先し、「荷受荷送人DB」に登録されている荷送人住所を上書き出力しない。

(G) 犬等品種DB処理

入力された品種コードにより「犬等品種DB」に登録されている品種名を画面に出力する。

(H) 仕出国（地域）DB処理

①入力された仕向国（地域）コードにより「仕出国（地域）DB」に登録されている仕向国（地域）名を画面に出力する。

(I) その他の予防注射の種類DB処理

入力されたその他の予防注射の予防液の種類コードにより「その他予防注射種類DB」に登録されている予防液の種類名を画面に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
輸出犬等検査申請事項登録応答情報	なし	入力者
処理結果通知	なし	入力者

7. 特記事項

①欄部の入力が入力欄を越える場合、先頭10欄分のみ処理する。

②用途名、仕向国（地域）名、搭載空港（港）名、品種名、狂犬病予防液の種類名、その他の予防液の種類名の各名称は、「バスケットコード」、「その他」のコード以外でDBに存在するコードが入力された場合は、名称に何らかの入力があっても、DB上に登録されているコードに対応する名称を上書き出力する。ただし、荷送人氏名、荷送人住所については、入力された名称を上書き出力は、行わない。